

# かみっ子ふるさと体感塾

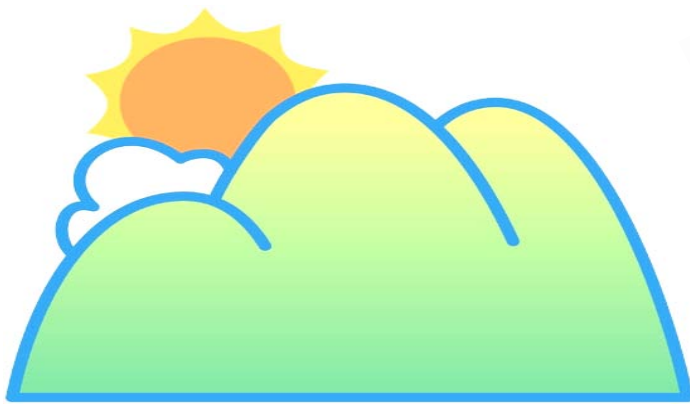
## 参加者募集！

### 《かみっ子ふるさと体感塾》ってなに？

子どもたちの様々な体験活動は、協調性・道徳観・正義感・困難を克服する強さなどを育むために必要不可欠だということが明らかになってきました。

本町は、子どもたちが四季折々の活動の中で健やかに、たくましく育ち、未来へ羽ばたくことを願って、平成21年に『かみしほろの健やかな育ち』を制定しました。

そして、子どもたちが四季折々の中で豊かな体験ができるよう、【自然体験】【生活体験】【交流】をキーワードとして、《かみっ子ふるさと体感塾》を開設し、体験を通して、健やかに、たくましく育ってくださることを目指します。



### 例えば、『体験活動』って、どんなことをするの？

例えば … 《キャンプ》

ぬかびら源泉郷を舞台に、大自然の中の体験活動で生きる知恵を学びます。

例えば … 《生活体験合宿》

集団生活の中で、仲間と協力して炊事や掃除など、自分のことは自分でする体験をします。

例えば … 《他町の子どもたちとの交流》

他のまちの子どもたちと宿泊交流し、新しい価値観や考えに触れ、仲間を増やします。

※ 詳細は、裏面をご覧ください

子どもたちが「たくさましさ」や「仲間と協力する力」を身につけられるよう、以下の4回の活動を予定しています。

## <開塾式とまちなか自然ウォッチング>

日時：6月25日（土）午後1時～午後3時

### ◎開塾式

参加する子どもたち1人ひとりに、入塾証を授与したのち、オリエンテーションやグループ（活動班）の役割分担を決めます。

### ◎まちなか自然ウォッチング

かみしほろは、市街地区も自然に恵まれた環境にあります。ひがし大雪博物館学芸員を講師に、身近なところにある自然観察をします。普段何気なく生活している環境も、ちょっと違った見方ができるようになるかもしれません。



## <ふるさと発見キャンプ>

日時：8月1日（月）～2日（火） 1泊2日



### ◎中心となるテーマ「もしもの時の知恵体験」

未曾有の被害を出した東日本大震災。北海道でも死者・負傷者・港湾などへの被害が出て、まさに「災害」は人ごとではないことを実感させられました。

今年度の、<ふるさと発見キャンプ>では、「もしもの時」に役立つアウトドアの知恵やノウハウを体験します。空き缶でご飯を炊いてみたり、水をろ過する方法を学んだり、ぬかびらの中での大自然の中で、生きる知恵を学びます。

## <生活体験合宿>

日時：1月11日（水）～13日（金）2泊3日

「自分のことは自分でする力をつける」「団体行動の中で、責任感を養う」「日常家族がしてくれている家事の大変さを知る」という3つの目標を立て、集団生活の中で炊事・掃除を中心とした生活体験を行います。

その他にも、かつて冬の風物詩であった臼と杵を使った「餅つき大会」や、帯広畜産大学の学生による学習サポート「冬休み宿題解決大作戦」を実施します。

この期間中は、会場から少年団や習い事に行き、また会場へ帰ってくるという形の参加もできます。



## <十勝東北部三町との宿泊交流>

日時：2月18日（土）～19日（日）1泊2日（詳細は調整中）



陸別町・足寄町・本別町は、毎年「ネイパルあしよろ」を会場として交流を目的に宿泊体験を実施しています。

平成23年度は、この宿泊交流体験にかみしほろからも参加し、工作体験や食育体験を通して、普段なかなか交流することがない他町の子ども同士が交流を深め、新しい考えや価値観に触れる機会を作ります。

**※お申込みご希望の方は、裏面をご覧ください**

# ～お申込みにあたって～

① 対象は 小学3年生～6年生 です。

定員は 30名 です（定員を超えた場合、抽選となります）。

② この事業は、登録制になります。

※例えば、「キャンプだけ」「生活体験合宿だけ」というような個別の申込はできません。

③ 登録しても、全て参加しなければいけないということではありません。

※4回全ての活動に参加頂くのが理想です。

しかし、結果として「1回だけの参加だった」「2回欠席してしまった」ということになってしまっても構いませんので、参加したい活動があれば、登録をお願いいたします。

④ 参加料について

※年間 4,000 円の実費のご負担をお願いします。

内訳 キャンプの食糧費 500 円

生活体験合宿の食費 1,000 円

東北部三町との宿泊交流の施設利用料 2,500 円

※各回の実施の時に、その都度徴収します。

⑤ できる限り、少年団や習い事との両立を目指します。

※例えば、生活体験合宿の場合は、会場から少年団（習い事）の練習に行き、また合宿の会場に戻ってくる、という形での参加も可能です。

その他も、例えば「少年団（習い事）があるから遅れて参加する」という参加も可能です。

⑥ お申込みは、別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、教育委員会  
または学校へ提出して下さい。

ご不明な点は、教育委員会社会教育担当（②—3024）佐藤・牧野へお問合せ下さい。